特　記　仕　様　書

（施工条件明示事項）

本工事を積算、施工するにあたり、以下の事項について留意すること。

（工事の趣旨）

本工事は、真田・菅平地区における横道、三島平、別荘下、下塚下の 4 箇所の減圧弁を更新する工事である。

（積算）

（１）本設計書は、令和 8 年度の国土交通省標準歩掛を基準とする。
（２）工種区分は、構造物工事（浄水場等）。
（３）積算単価は、令和 8 年 10 月 1 日適用及び、機器費、材料費等については、見積単価を採用している。
（４）施工地域等区分は、一般交通影響あり②。
（５）契約保証は金銭的保証。
（６）物価の変動による資材費の変更は単品スライド条項を運用。
（７）冬期補正なし。
（８）本工事は週休 2 日工事の対象工事外とする。

（施工基準）

本工事の積算・施工については、上田市上下水道局の下記、基準に基づいている。
（水道施設設計基準・水道工事標準仕様書・品質管理基準・出来高管理基準・写真管理基準・提出書類様式集・給水装置工事施工基準）

また、下記の関係法令、規格に準拠して施工すること。

(1) 日本工業規格（JIS 規格）
(2) 日本電気規格調査会標準規格(JEC)
(3) 日本電機工業会規格(JEM)
(4) 日本電線工業会規格(JCS)
(5) 電気設備技術基準(経済産業省)
(6) 内線規定(日本電気技術規格委員会編)
(7) 機械設備工事共通仕様書(国土交通省営繕部監修公共建築協会編)
(8) 電気設備工事共通仕様書(国土交通省営繕部監修公共建築協会編)
(9) その他必要な関係法令、条例、規格

（施工条件等）

建設業法等遵守すること。

現場施工上変更等が生じた際は、必ず協議書等を提出し監督員の指示を受けること。

（工事工程関係）

請負者は、下請け契約がある場合は施工体制台帳・施工体系図を作成し、工事現場に備えるとともに、その写しを監督員に提出しなければならない。
なお、施工体制台帳には、建設業法施行規則第 14 条の 2 第 2 項に基づき下請負に係る請負契約書等の写しを添付しなければならない。

（現場の制約・条件）

・工期は、雨天・休日を含み、令和 9 年 3 月 17 日までとする。
・工事を施工しない日は、原則として、土曜日、日曜日、夏季休暇（８月 13 日～16 日）、年末年始（12 月 29 日～１月３日）とする。ただし、事前に監督員と協議し承諾を得た場合は、この限りでない。
・工事を施工しない時間帯は、原則として、平日の午後６時から午前８時までとする。ただし、緊急を要する場合や夜間工事を必要とする場合など、事前に監督員と協議し承諾を得た場合は、この限りでない。
・施工期間及び施工方法等について下記の制約･条件があるため、事前に工程の調整を行うこと。
（保安林解除申請・埋蔵文化財事前調査・自然公園法施行承認申請・工事自粛期間・ＪＲ近接工事・緊急工事区分・運搬／労務補正・山間地域運賃補正等）
地元・関係機関との協議
・着工に当たって、下記の協議を関係機関及び地元住民とすること。

関係機関等	協議事項	内容	時期
・沿道住民及び商店等 ・地元自治会 ・公共機関	・交通制限 ・工事説明	・ 工事内容、施工方法、交通制限等	着手前

（地元耕作者・地区・水路管理者・公共機関・ライフライン事業者・ＪＲ等）
※なお、協議結果は施工計画書・協議記録書（様式任意）に記載し提出のこと。
（近接・競合工事）
・本工事に近接ないし競合する工事が施工される場合、請負者間相互の連絡調整を密にして、その内容を監督員に報告して施工すること。

（試運転及び調整）

使用時に係員を派遣し、試運転調整を行うこと。

（暴力団員等からの不当要求に対する報告）

受注者（受注者の下請負人等を含む。）は、当該契約の履行に当って、暴力団員又は暴力団関係者から不当要求を受けたときは、遅滞なく警察に通報するとともに、市へ報告すること及びその他必要な措置を講ずるようにしなければならない。

（保証期間）

本工事における機器の保証期間は、引渡し完了後２年間とする。

（その他）

着工前に近接する他工事関係者､地下埋設事業者､公共交通機関等､十分協議の上施工すること。
また、近接する土地所有者と境界・工作物等について十分協議、確認してから施工すること。
他工事が同時に行われる場合は、他工事の施工業者と安全協議会を構成運営し、安全管理、工程管理、防犯、技術協力等で綿密な連携のもと施工すること。
NTT 管路、ガス管及び下水道管等の周辺掘削に際しては、人力にて先掘確認後施工すること。
通行制限については道路管理者と十分な協議を行い、指示に従って実施すること。
交通管理（歩行者、車両）には十分な配慮をし、第３者災害の防止に万全を期すこと。 また、通行止の場合には迂回路看板等十分配置し施工すること。
施工にあたっては、工事区域関係住民と十分な協議をして施工すること。
占用位置図（横断図）の提出にあたっては、他の占用物件も忘れずに記入すること。
『建設工事公衆災害防止対策要綱』を十分把握し、事故防止に配慮すること。
管破損等事故が発生した場合は、至急発注担当課へ連絡し指示を仰ぐこと。
事故発生後、起因者は必ず発注担当課長へ事故報告を行う。また、施工業者は事故報告書を早急に提出すること。

（特記事項）

１事前に資材の搬入経路等の現地状況を確認すること。
２工事の施工にあたり、断水や配水池水位の低下等が予想される場合は、事前に担当課と協議すること。また、既存建物等を棄損しないように十分注意し、万一損傷した場合は監督員の指示に従い速やかに復旧すること。
３本特記事項に記載のない事項及び異議が発生した場合は、その都度監督員と協議の上、施工すること。
４本工事は、供給の偏りや流通の目詰まりにより入手が困難となっているナフサを由来とする建設資材（以下、「調達検討資材」）の調達に必要となる経費（以下、「別途調達経費」）について、設計変更を行う対象工事である。

５調達検討資材は監督職員と協議するものとする。
協議にあたり以下の書類を添付すること。
・ナフサ由来製品であることが確認できる資料（カタログ、メーカー資料等、メーカー聞き取りでも可）

６別途調達経費が必要となり設計変更を行う場合とは、以下を想定している。
①　調達検討資材の代替資材を調達した場合
②　調達検討資材の流通経路を見直して調達した場合
③　調達検討資材を調達した場合（別途調達経費を含む）

７受注者は、別途調達経費に係る証明書類（実際の取引伝票等）を監督職員に提出するものとし、その別途調達経費については設計変更の対象とする。

真田・菅平地区減圧弁更新工事　詳細事項

１．納入機器・資材

本工事に使用する機器等の仕様は次の通りとする。

横道

１．減圧弁

１－１．構　　造

（１）　弁は管内の流体のもつ圧力を利用し、本体部、パイロットバルブ部とその間を接続する配管部から一体構成され、入口圧力が変化しても設定出口圧力を保持する構造とする。

（２）　本体構造はピストン式とし、流水通過部はＶカット形状で、流量特性の優れた構造とする。

（３）　弁開度は、外部よりインジケータで確認ができ、容易に作動状況が確認できる構造とする。

（４）　弁開度に応じて開口面積が変化する可変ニードルを採用し、流量変化に主弁動作が素早く対応する構造とする。

（５）　設定出口圧力の変更が安易に行え、部品を交換しないでも広範囲（０．１～０．７ＭＰａ）で変更できる構造とする。

（６）　ピストンパッキンは、圧力差により止水しやすいU形パッキンを採用した構造とする。

１－２．製 作 仕 様

（１）　型　　式：ＭＲＦ－１００（参考）

（２）　口　　径：１００ｍｍ

（３）　フ ラ ン ジ：ＪＩＳ　Ｇ　５５２７　ＲＦ　７．５Ｋ

（４）　入 口 圧 力：０．６５　ＭＰａ

（５）　設定出口圧力：０．４０　ＭＰａ

（６）　面　　間：４００ｍｍ

（7）　質　　量：８０ｋｇ

１－３．主要部材質

（1）　本　　体：ＦＣＤ４５０－１０
（2）　ピ ス ト ン：ＣＡＣ９０２
（3）　ラ イ ナ ー：ＣＡＣ５０２
（4）　シ リ ン ダ ー：ＳＵＳ３０４
（5）　ピストンパッキン：ＮＢＲ

１－４．塗　　装

（1）　内　　面：エポキシ樹脂粉体塗装（色：グレー）
（2）　外　　面：エポキシ樹脂粉体塗装（色：グレー）

１－５．検　　査

社内検査、日本水道協会検査

検査項目

（1）　外観検査
（2）　寸法検査
（3）　作動検査
（4）　水圧検査／耐 圧 試 験　１．７５ＭＰａ
（5）　水圧検査／弁漏れ試験　０．７５ＭＰａ

１－６．承　諾　図

製作に先立ち承諾図を提出し、承認を受けること。

１－７．指導及び調整

使用時に係員を派遣し、試運転調整を行うこと。

２．ストレーナー

２－１．構　　造

（1）　ストレーナーの形状はバケット形で、本体部・スクリーンから構成され、
ストレーナー内のゴミなどの除去を行う時に、スクリーンが安易に取り出し、
取り付けができる構造とする。

（2）　本体には管路内の空気を排出する機能がついたものとする。

2－2．製 作 仕 様

（1）　型　　式：ＳＵ－Ｃ（参考）

（2）　口　　径：１００mm

（3）　フ ラ ン ジ：ＪＩＳ　Ｇ　５５２７　ＲＦ　７．５Ｋ

（4）　入 口 圧 力：０．７５　ＭＰａ

（5）　面　　間：３５０mm

（6）　質　　量：６６ｋｇ

2－3．主要部材質

（1）　本　　体：ＦＣＤ４５０－１０

（2）　スクリーン：ＳＵＳ３０４

（3）　メ ッ シ ュ：１２

2－4．塗　　装

（1）　内　　面：エポキシ樹脂粉体塗装（色：グレー）

（2）　外　　面：エポキシ樹脂粉体塗装（色：グレー）

2－5．検　　査

社内検査、日本水道協会検査

検査項目

（1）　外観検査

（2）　寸法検査

（3）　水圧検査／耐 圧 試 験　１．７５ＭＰａ

2－6．承 諾 図

製作に先立ち承諾図を提出し、承認を受けること。

3．伸縮管

3－1．構　　造

（1）　二重管をハウジング型継手で接続し、スライドが可能な構造とする。

３－２．製 作 仕 様

（１）　口　　径：１００mm

（２）　フ ラ ン ジ：ＪＩＳ　Ｇ　３４４３－２　Ｆ１２

（ＪＩＳ　Ｇ　５５２７　７．５Ｋ　相当）

（３）　面　　間：３００mm　（±５０mm）

３－３．主要部材質

（１）　本　　体：ＳＧＰ

（２）　フ ラ ン ジ：ＳＳ４００

（３）　ハウジング　：ＦＣＤ４５０－１０

（４）　ゴムリング　：ＳＢＲ

３－４．塗　　装

（１）　内　　面：ナイロンコーティング（色：グレー）

（２）　外　　面：ナイロンコーティング（色：グレー）

３－５．検　　査

社内検査、日本水道協会検査

検査項目

（１）　外観検査

（２）　寸法検査

（３）　塗装検査

（４）　水圧検査

３－６．承　諾　図

製作に先立ち承諾図を提出し、承認を受けること。

下塚下

１．減圧弁

１－１．構　　造

（１）　弁は管内の流体のもつ圧力を利用し、本体部、パイロットバルブ部とその間を

接続する配管部から一体構成され、入口圧力が変化しても設定出口圧力を保持する構造とする。

（２）　本体構造はピストン式とし、流水通過部はVカット形状で、流量特性の優れた構造とする。

（３）　弁開度は、外部よりインジケータで確認ができ、容易に作動状況が確認できる構造とする。

（４）　弁開度に応じて開口面積が変化する可変ニードルを採用し、流量変化に主弁動作が素早く対応する構造とする。

（５）　設定出口圧力の変更が安易に行え、部品を交換しないでも広範囲（０．１～０．７ＭＰａ）で変更できる構造とする。

（６）　ピストンパッキンは、圧力差により止水しやすいU形パッキンを採用した構造とする。

１－２．製作仕様

（１）　型　　式：ＭＲＦ－１００（参考）

（２）　口　　径：１００ｍｍ

（３）　フランジ：ＪＩＳ　Ｇ　５５２７　ＲＦ　７．５Ｋ

（４）　入口圧力：０．７５　ＭＰａ

（５）　設定出口圧力：０．２８　ＭＰａ

（６）　面　　間：４００ｍｍ

（７）　質　　量：８０ｋｇ

１－３．主要部材質

（１）　本　　体：ＦＣＤ４５０－１０

（２）　ピストン：ＣＡＣ９０２

（３）　ライナー：ＣＡＣ５０２

（４）　シリンダー：ＳＵＳ３０４

（５）　ピストンパッキン：ＮＢＲ

１－４．塗　　装

（１）　内　　面：エポキシ樹脂粉体塗装（色：グレー）

（２）　外　　面：エポキシ樹脂粉体塗装（色：グレー）

１－５．検　　査

社内検査、日本水道協会検査

検査項目

（1）　外観検査

（2）　寸法検査

（3）　作動検査

（4）　水圧検査／耐 圧 試 験　１．７５ＭＰａ

（5）　水圧検査／弁漏れ試験　０．７５ＭＰａ

１－６．承　諾　図

製作に先立ち承諾図を提出し、承認を受けること。

１－７．指導及び調整

使用時に係員を派遣し、試運転調整を行うこと。

２．ストレーナー

２－１．構　　造

（1）　ストレーナーの形状はバケット形で、本体部・スクリーンから構成され、
ストレーナー内のゴミなどの除去を行う時に、スクリーンが安易に取り出し、
取り付けができる構造とする。

（2）　本体には管路内の空気を排出する機能がついたものとする。

２－２．製 作 仕 様

（1）　型　　式：ＳＵ－Ｃ（参考）

（2）　口　　径：１００ｍｍ

（3）　フ ラ ン ジ：ＪＩＳ　Ｇ　５５２７　ＲＦ　７．５Ｋ

（4）　入 口 圧 力：０．７５　ＭＰａ

（5）　面　　間：３５０ｍｍ

（6）　質　　量：６６ｋｇ

２－３．主要部材質

（1）　本　　体：ＦＣＤ４５０－１０

（2）　スクリーン：ＳＵＳ３０４

（3）　メ ッ シ ュ：１２

２－４．塗　　装

（１）　内　　面：エポキシ樹脂粉体塗装（色：グレー）

（２）　外　　面：エポキシ樹脂粉体塗装（色：グレー）

２－５．検　　査

社内検査、日本水道協会検査

検査項目

（１）　外観検査

（２）　寸法検査

（３）　水圧検査／耐 圧 試 験　１．７５ＭＰａ

２－６．承　諾　図

製作に先立ち承諾図を提出し、承認を受けること。

３．伸縮管

３－１．構　　造

（１）　二重管をハウジング型継手で接続し、スライドが可能な構造とする。

３－２．製 作 仕 様

（１）　口　　径：１００ｍｍ

（２）　フ ラ ン ジ：ＪＩＳ　Ｇ　３４４３－２　Ｆ１２

（ＪＩＳ　Ｇ　５５２７　７．５Ｋ　相当）

（３）　面　　間：３００ｍｍ　（±５０ｍｍ）

３－３．主要部材質

（１）　本　　体：ＳＧＰ

（２）　フ ラ ン ジ：ＳＳ４００

（３）　ハウジング　：ＦＣＤ４５０－１０

（４）　ゴムリング　：ＳＢＲ

３－４．塗　　装

（１）　内　　面：ナイロンコーティング（色：グレー）

（２）　外　　面：ナイロンコーティング（色：グレー）

３－５．検　　査

社内検査、日本水道協会検査

検査項目

（１）　外観検査

（２）　寸法検査

（３）　塗装検査

（４）　水圧検査

３－６．承　諾　図

製作に先立ち承諾図を提出し、承認を受けること。

三島平

１．減圧弁

１－１．構　　造

（１）　弁は管内の流体のもつ圧力を利用し、本体部、パイロットバルブ部とその間を接続する配管部から一体構成され、入口圧力が変化しても設定出口圧力を保持する構造とする。

（２）　本体構造はピストン式とし、流水通過部はＶカット形状で、流量特性の優れた構造とする。

（３）　弁開度は、外部よりインジケータで確認ができ、容易に作動状況が確認できる構造とする。

（４）　弁開度に応じて開口面積が変化する可変ニードルを採用し、流量変化に主弁動作が素早く対応する構造とする。

（５）　設定出口圧力の変更が安易に行え、部品を交換しないでも広範囲（０．１～０．７ＭＰａ）で変更できる構造とする。

（６）　ピストンパッキンは、圧力差により止水しやすいU形パッキンを採用した構造とする。

１－２．製 作 仕 様

（１）　型　　式：ＭＲＦ－１００（参考）

（2）　口　　径：１００mm

（3）　フ ラ ン ジ：ＪＩＳ　Ｇ　５５２７　ＲＦ　７．５Ｋ

（4）　入 口 圧 力：０．７５　ＭＰａ

（5）　設定出口圧力：０．１６　ＭＰａ

（6）　面　　間：４００mm

（7）　質　　量：８０ｋｇ

１－３．主要部材質

（1）　本　　体：ＦＣＤ４５０－１０

（2）　ピ ス ト ン：ＣＡＣ９０２

（3）　ラ イ ナ ー：ＣＡＣ５０２

（4）　シ リ ン ダ ー：ＳＵＳ３０４

（5）　ピストンパッキン：ＮＢＲ

１－４．塗　　装

（1）　内　　面：エポキシ樹脂粉体塗装（色：グレー）

（2）　外　　面：エポキシ樹脂粉体塗装（色：グレー）

１－５．検　　査

社内検査、日本水道協会検査

検査項目

（1）　外観検査

（2）　寸法検査

（3）　作動検査

（4）　水圧検査／耐 圧 試 験　１．７５ＭＰａ

（5）　水圧検査／弁漏れ試験　０．７５ＭＰａ

１－６．承　諾　図

製作に先立ち承諾図を提出し、承認を受けること。

１－７．指導及び調整

使用時に係員を派遣し、試運転調整を行うこと。

２．ストレーナー

２－１．構　　造

（１）　ストレーナーの形状はバケット形で、本体部・スクリーンから構成され、
ストレーナー内のゴミなどの除去を行う時に、スクリーンが安易に取り出し、
取り付けができる構造とする。

（２）　本体には管路内の空気を排出する機能がついたものとする。

２－２．製 作 仕 様

（１）　型　　式：ＳＵ－Ｃ（参考）

（２）　口　　径：１００ｍｍ

（３）　フ ラ ン ジ：ＪＩＳ　Ｇ　５５２７　ＲＦ　７．５Ｋ

（４）　入 口 圧 力：０．７５　ＭＰａ

（５）　面　　間：３５０ｍｍ

（６）　質　　量：６６ｋｇ

２－３．主要部材質

（１）　本　　体：ＦＣＤ４５０－１０

（２）　スクリーン：ＳＵＳ３０４

（３）　メ ッ シ ュ：１２

２－４．塗　　装

（１）　内　　面：エポキシ樹脂粉体塗装（色：グレー）

（２）　外　　面：エポキシ樹脂粉体塗装（色：グレー）

２－５．検　　査

社内検査、日本水道協会検査

検査項目

（１）　外観検査

（２）　寸法検査

（３）　水圧検査／耐 圧 試 験　１．７５ＭＰａ

２－６．承　諾　図

製作に先立ち承諾図を提出し、承認を受けること。

別荘下

１．減圧弁

１－１．構　　造

（１）　弁は管内の流体のもつ圧力を利用し、本体部、パイロットバルブ部とその間を接続する配管部から一体構成され、入口圧力が変化しても設定出口圧力を保持する構造とする。

（２）　本体構造はピストン式とし、流水通過部はVカット形状で、流量特性の優れた構造とする。

（３）　弁開度は、外部よりインジケータで確認ができ、容易に作動状況が確認できる構造とする。

（４）　弁開度に応じて開口面積が変化する可変ニードルを採用し、流量変化に主弁動作が素早く対応する構造とする。

（５）　設定出口圧力の変更が安易に行え、部品を交換しないでも広範囲（０．１～０．７ＭＰａ）で変更できる構造とする。

（６）　ピストンパッキンは、圧力差により止水しやすいU形パッキンを採用した構造とする。

１－２．製 作 仕 様

（１）　型　　式：ＭＲＦ－１００（参考）

（２）　口　　径：１００ｍｍ

（３）　フ ラ ン ジ：ＪＩＳ　Ｇ　５５２７　ＲＦ　７．５Ｋ

（４）　入 口 圧 力：０．６１　ＭＰａ

（５）　設定出口圧力：０．２６　ＭＰａ

（６）　面　　間：４００ｍｍ

（７）　質　　量：８０ｋｇ

１－３．主要部材質

（１）　本　　体：ＦＣＤ４５０－１０

（２）　ピ ス ト ン：ＣＡＣ９０２

（３）　ラ イ ナ ー：ＣＡＣ５０２

（４）　シ リ ン ダ ー：ＳＵＳ３０４

（５）　ピストンパッキン：ＮＢＲ

１－４．塗　　装

（１）　内　　面：エポキシ樹脂粉体塗装（色：グレー）
（２）　外　　面：エポキシ樹脂粉体塗装（色：グレー）

１－５．検　　査

社内検査、日本水道協会検査

検査項目

（１）　外観検査
（２）　寸法検査
（３）　作動検査
（４）　水圧検査／耐 圧 試 験　１．７５ＭＰａ
（５）　水圧検査／弁漏れ試験　０．７５ＭＰａ

１－６．承　諾　図

製作に先立ち承諾図を提出し、承認を受けること。

１－７．指導及び調整

使用時に係員を派遣し、試運転調整を行うこと。

２．ストレーナー

２－１．構　　造

（１）　ストレーナーの形状はバケット形で、本体部・スクリーンから構成され、
ストレーナー内のゴミなどの除去を行う時に、スクリーンが安易に取り出し、
取り付けができる構造とする。
（２）　本体には管路内の空気を排出する機能がついたものとする。

２－２．製 作 仕 様

（１）　型　　式：ＳＵ－Ｃ（参考）
（２）　口　　径：１００ｍｍ
（３）　フ ラ ン ジ：ＪＩＳ　Ｇ　５５２７　ＲＦ　７．５Ｋ

（4） 入 口 圧 力：０．７５ ＭＰａ

（5） 面　　間：３５０ｍｍ

（6） 質　　量：６６ｋｇ

２－３．主要部材質

（1） 本　　体：ＦＣＤ４５０－１０

（2） スクリーン：ＳＵＳ３０４

（3） メ ッ シ ュ：１２

２－４．塗　　装

（1） 内　　面：エポキシ樹脂粉体塗装（色：グレー）

（2） 外　　面：エポキシ樹脂粉体塗装（色：グレー）

２－５．検　　査

社内検査、日本水道協会検査

検査項目

（1） 外観検査

（2） 寸法検査

（3） 水圧検査／耐 圧 試 験　１．７５ＭＰａ

２－６．承 諾 図

製作に先立ち承諾図を提出し、承認を受けること。

３．伸縮管

３－１．構　　造

（1） 二重管をハウジング型継手で接続し、スライドが可能な構造とする。

３－２．製 作 仕 様

（1） 口　　径：１００ｍｍ

（2） フ ラ ン ジ：ＪＩＳ Ｇ ３４４３－２ Ｆ１２

（ＪＩＳ Ｇ ５５２７ ７．５Ｋ 相当）

（３）　面　　間：３００ｍｍ　（±５０ｍｍ）

３－３．主要部材質

（１）　本　　体：ＳＧＰ
（２）　フ ラ ン ジ：ＳＳ４００
（３）　ハウジング　：ＦＣＤ４５０－１０
（４）　ゴムリング　：ＳＢＲ

３－４．塗　　装

（１）　内　　面：ナイロンコーティング（色：グレー）
（２）　外　　面：ナイロンコーティング（色：グレー）

３－５．検　　査

社内検査、日本水道協会検査

検査項目

（１）　外観検査
（２）　寸法検査
（３）　塗装検査
（４）　水圧検査

３－６．承　諾　図

製作に先立ち承諾図を提出し、承認を受けること。